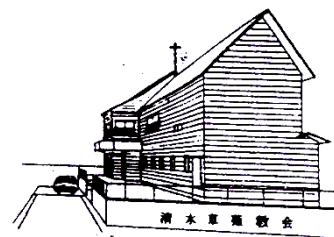


《今朝の聖書から》皆さんは、元旦にどちらに出かけるでしょうか。いろいろと行くところがあって、疲れるという方もあるでしょうが、この時だから、行けるところがあり、会える人も多いのではないのでしょうか。私たちは、まず教会に集うことが出来て、とても幸いだと思えます。幼子の献児式に集い、結婚式に集い、聖餐に、洗礼に、礼拝に、そして天に召される時まで、人のすべての生活を知っているのが、この世の教会でもあります。どこの御宮さんが効き目があるとか、うちのお寺はどこだったっけ、こちらのホテルの方が豪華でお手頃、などと迷うこともあります。大変なこと・苦しいことに直面した時も教会にきます。こんなことがしばしば語られます。“一度生まれた人は二度死に、二度生まれた人は一度しか死なない”というのです。このよに生まれ、罪の許しのバプテスマを、父と子と聖霊の名によって受けた人は、肉においては一度死ぬでしょうが、“永遠の命を継ぐものとならせてください”と祈られ、宣言されるように、また罪の内に亡くなる人は、肉において死に、魂においても死ぬ、というのです。如何ともしがたい圧倒的な真実でしょう。今朝の説教題ですが“人”とありますが、“安心する時と不安の時”と言った方が正確でしょう。困難にある時、“クリスチャンである私はどうしようか”と思うべきです、“信仰を持つことは得なことなのか”と迷いの中をさまよって行けません。安心は“主の救いのもと、ただあなたはみずから慎み、また、あなた自身をよく守りなさい(申命記4:9)”からやってきます。この慎むですが、ヘブルの言葉で שָׁמַר (シヤマル) ですが、新共同訳では“十分気をつけ”となっているとても優しい言葉です。ガードするとか、羊を十分気をつけて養うときにも使われる言葉です。英文の聖書では take heed とか、ただ keep という具合に訳される時が多いようです。教会をも大切に見守りましょう。保ちましょう。長い間の不満の蓄積になっていませんか。不満ではなく、慎みが解決と、良いことを喜ぶ力になるのです。

週報

2009年 1月 1日



伝えよう 救い主を
迎えよう 主の民を

日本フリーメソジスト

清水草薙キリスト教会

牧師 村上 定幸

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル公会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	http://kusanagi.church.jp/	

〒424-0885
静岡市清水区草薙杉道3丁目2-26
☎054-345-4070 E-Mail grace@big.jp